

～最高のみかんを届けたい！～ 菊池 安光さん（伊方町）



農業生産法人みさき果樹園代表 1971 年生まれ
ホームページ <http://www.rakuten.co.jp/misaki-kajuen/>

☆経営概況☆

しらぬい

果樹生産（温州みかん8ha、伊予柑 1.8ha 不知火 1.5ha 清見 1.2ha）に加え、自ら光センサー選果機を整備し、ネット販売及び卸売業も営んでいます。

（常時雇用 10 人 外国人実習生 3 人 繁忙期パート 25 人 ）

☆ここがポイント☆

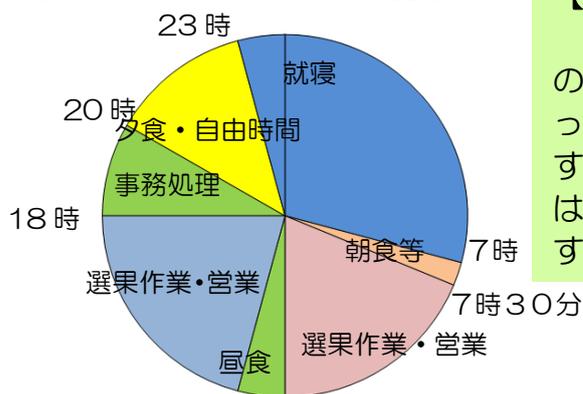
■会社経営の確立

昔から法人化はしていましたが、農業者としていち早く**会社経営に踏み出す**ことで、地域農業のモデル的な存在になることができました。

■耕作放棄地の受け皿に！

地元の**耕作放棄地抑止の受け皿**となって、農地の購入や耕作の依頼があったときは応じるようにしています。そうすることで、**地元農家の信頼を得ながら自社生産量を拡大**してきました。そして、できるだけ地域に住んでいる方々を雇用するよう努めるなど、**地域と共に農業の振興**に取り組んでいます。

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

趣味は特にはありませんが、ほとんどの日曜日は 3 人の子供の野球やソフトボールの練習の指導や大会、練習試合の観戦に行っています。子供の成長している姿を見るのが今の楽しみです。繁忙期でも販売部門は必ず日曜日は休みにして、仕事のことはなるべく考えないようにしています。生産部門は、11 月～12 月は日曜日も収穫を行っています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	11 月から 5 月		選果作業等			(休み)
【普段】	6 月から 10 月		農作業等			(休み)



☆これからの夢や目指すもの☆

■6次産業化に挑戦！

当地域は、かんきつの品種が多く、加工品を作るにはとても良い環境にありながら、加工は果汁を搾り、ジュースやそれを使ったアイスのみで、加工果実単価はとても安く、再生産原価には足りないのが現状でした。現在、他社と差別化した加工品を開発中であり、加工果実も生果実と同等の単価を取れるような商品開発を行っています。また、今年度より大手コンビニと共に商品開発も行っています。かんきつの加工商品が上手く行くことにより、**年間通じての販売と雇用の増大と収益の向上に繋がって行きたい**と思います。

☆メッセージ☆

■将来の会社像！

ネット販売・生協・スーパー・コンビニと販路拡大を行い、生産したかんきつは自分で単価を決められる様な販売体型を構築し、さらなる農地を拡大し、安定した生産量と高品質な商品供給を行い信頼の得られる会社となり、また**消費者に喜ばれ、選ばれる会社**を目指します。